

(こくさいか山口 2006年7→9月号掲載記事)

～韓国統一地方選挙～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
久保 伸子

5月31日は韓国の統一地方選挙でした。韓国の地方選挙は1995年に初めて行われ、1998年、2002年に続き今回が4回目です。ソウル市をはじめとする広域市と道の首長16人と各議会議員の選挙が行われました。今回の選挙は2007年の大統領選挙、2008年の総選挙へと連なる重要な選挙、ということで、各地で熾烈な選挙戦が繰り広げられたようです。

釜山広域市でも、市長、市議会議員、各区長、区議会議員の選挙が行われました。私が釜山に来た4月上旬から、すでに各地で行われるイベント会場では、どこかの議員候補らしき人が名刺を配りながら挨拶する姿がしばしば見られました。テレビでも連日のように、市長候補の誰々が災害被災地を訪れ激励した、福祉施設で慰問活動した…といったニュースが流れるようになりました。

5月18日の告示以降、本格的な選挙運動に突入。街中に、街頭演説のステージや選挙宣伝カー、街頭でアップテンポの曲に合わせて踊る候補と応援団、自転車に候補ののぼりを立てて走る市民団体なども見られました。地下鉄の駅では、選挙権のない私も、たくさん名刺を頂きよろしくと挨拶されました。

選挙戦の情勢は、野党ハンナラ党が全国的に優勢で、与党ウリ党は大苦戦。結果は、大方の予想のとおりハンナラ党の圧勝で、釜山市長にもハンナラ党の現職・許南植(ホ・ナムシク)市長が再選されました。



選挙前、街中のあちこちに巨大な候補者の写真が…。ビルに壁面に張られた、こちらは釜山市長に再選された許南植候補のもの。

ところで、投票日の31日は平日。選挙のため仕事も学校も休みです。選挙は当然日曜と思っている日本人には意外な話ですが、平日に選挙が行われる国も実際には多いようです。日曜日に投票事務や深夜の開票事務を行う日本の公務員としては、とにかく大変うらやましい話です。

候補者の大きな横断幕とともに、街中には選挙日を告げる横断幕、投票を呼びかけるポスターも見かけました。人気歌手のピ (RAIN) に「選挙に行くあなたが美しい」と言われれば、私なら平日であろうと日曜であろうと必ず選挙に行かねば！と思うのですが…。今回の投票率は、全国で51.3%、釜山では48.0%で、決して高いとはいえません。それでも前回の2002年の総選挙より全国で2.4%、釜山では6.2%もアップしたとのこと。もっとも、投票率アップの大きな原因は、2002年の選挙がワールドカップ開催中であったのに対し、今回は開催前に行われたことだといわれていますが…。

いずれにしろ、統一地方選後、韓国の政治は変化を見せるのか、引き続き目が離せません。